

【教養科目領域/基盤科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
レポートの書き方	NLA11_003	必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小石川 正文	教員控室	masafumi.koishikawa	授業終了後または Teams にて質問受付		
授業の目的・概要	レポートでは問題を提起し、それに対して自分の考えを客観的かつ論理的に説明することが求められる。そのための、課題の明確化、必要な情報収集とその整理、分析と要約という、レポート作成の流れを理解し、記述できるスキルの習得を目指す。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	レポートを書くという行為は、自己の知の探究の営みを公のものとして発表していく試みの一つである。そのためには、学問的な思考や方法を体得し、それを表現するための手法を身に付ける必要がある。前提として、周囲の事象に知的好奇心、興味・関心を持ってほしい。				
教科書	特に指定しない。必要な資料は授業時に提示する。				
参考書	看護学生のためのよくわかる大学での学び方 第3版/梶谷佳子, 河原宣子/金芳堂/2025				
外部教材	必要な資料は授業時に提示する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	レポートのテーマに関する課題を明確にすることができる。		HSU (1)、(2)、(5)		
②	課題を論証し、具体的な内容を構想化することができる。		HSU (1)、(2)、(5)		
③	構想した内容を自分の考えとして、論理的に表現することができる。		HSU (1)、(2)、(5)		
④	レポート作成のスキルを身に付け、他の場面でも活用することができる。		HSU (1)、(2)、(5)		
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間(時間)	
1	オリエンテーション レポートとはなにか。作成の基本を学ぶ。レポートのテーマの提示		講義	授業内容を復習する。 2	
2	レポート作成のスキル(1) 作成の作法・構想・一文一義を学ぶ。		講義	授業内容を復習し、提示した課題についての疑問点を明確にする。 2	
3	レポート作成のスキル(2) 構成の大切さを学ぶ。		講義	授業内容を復習し、提示した課題についての疑問点を明確にする。 2	
4	レポート作成のスキル(3) パラグラフ・ライティング、引用法を学ぶ。		講義	授業内容を復習し、提示した課題についての疑問点を明確にする。 2	
5	レポート作成のスキル(4) 参考文献の示し方、句読点、脚注を学ぶ。レポートの初稿提出		講義	授業内容を復習し、提示した課題についての疑問点を明確にする。 2	
6	レポート作成のスキル(5) 電子書籍の使用、図・表の挿入を学ぶ。		講義	授業内容を復習し、提示した課題についての疑問点を明確にする。 2	
7	執筆の心得を学ぶ。感想文からの脱却。レポート返却		講義	これまでの受講の成果から、次回の発表の準備をする。 2	
8	発表・総括		講義・プレゼンテーション	他者の発表を参考に自身の考え方見方を再考する機会とし、レポートに反映させる。 2	
試	期末試験は行わない。 達成度評価・評価のポイントを参照				

【教養科目領域/基盤科目群】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	20	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	15	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	20	5	0	5	30
問題を発見・解決する力	0	15	0	0	5	20	
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	期末レポートを評価する。複数のレポート課題を事前に提示し、その中から学生自身が選んだ課題について提出する。 なお、講義期間中に、何度か中間提出の機会を設ける。評価基準については授業内で説明する。				講評を付けて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	本授業の学びの「情報収集と整理、分析と要約からレポート作成」を受け、プレゼンテーションする。その構成、内容、表現技術、質疑応答等を総合的に評価する。評価基準については授業内で説明する。				講評を付けて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業中もしくは時間外学習にて、予告の上で課題を課し、小テストを行うこともある。課題の提出及び課題の得点、小テストの得点、出席状況などを総合的に評価の対象とする。評価基準については授業内で説明する。				講評を付けて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験							
実践的授業の内容	「書く」ことの理解と実践を深めるため、模範となる具体的な事例を数多く紹介し、プレゼンテーション、グループワーク等も取り入れながら授業を進める。						
その他	<ul style="list-style-type: none"> 本授業は対面方式であるが、授業の進捗状況、授業環境等(感染症等の影響)により、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。また、必修科目のため、欠席や遅刻をしないように努める。 生成 AI を使用した作成は認めない。使用と判断される場合は評価の対象としない。 今後の学生生活やビジネスシーンにおいて、「書く」行為で自己を発表する機会が多く重要である。そのために必要なスキルの習得と向上を目指しており、積極的に取り組むことを期待する。 						